

競技注意事項

- 本大会に適用する規則は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定による。
※ 競技規則 TR5.2に適合しないシューズの使用は認めない。
 - ウォーミングアップについて
 - ウォーミングアップは、バックスタンド下屋内練習場を利用する。
両日ともトラック競技開始15分前までは、競技場トラックを利用することができる。ただし、開会式の最中は、バックスタンド下屋内練習場を利用すること。
 - 公式練習以外の投てき練習は、一切禁止する。
 - 招集について
 - 招集所（競技者係）は、メインスタンド1Fロビーに設ける。
 - トラック競技は、競技開始時刻2時間前から競技開始時刻20分前までに、競技者係でコール用紙に○をつける（一次コール）。その際、1500mは腰ナンバーカードを、3000m以上の競技では別ナンバー・腰ナンバーカードを受け取る。その後、競技開始時刻5分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
 - フィールド競技は、競技開始時刻2時間前から競技開始時刻40分前までに、競技者係でコール用紙に○をつける（一次コール）。その後、競技開始時刻25分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
 - リレーオーダー用紙は、二次の招集完了時刻60分前までに競技者係に提出する（一次コール）。用紙は競技者係に準備してある。その後、競技開始時刻5分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
 - 最終コール（二次コール）の代理人は認めない。多種目出場する競技者の招集時間や試合時間が重なる場合は、本人が最初の種目の一次コールの際に申し出て、指示を受けること。
 - 競技について
 - トラック競技
 - レーンは、プログラム記載のレーンとする。
 - スタートはイングリッシュコマンドを用い、1回の不正スタートで失格とする。明らかな不適切行為でないと審判長またはスターター主任が判断した場合は、審判長またはスターター主任がグリーンカードを呈示して当該競技者に注意を与える。
 - ナンバーカードは胸部・背部ともにしっかりと付けること。800mまでの競技の腰ナンバーは、各校で準備すること。
 - 決勝の組み合わせレーンは、番組編成員が決定し、招集所に掲示する。
 - フィールド競技
 - 試技は、プログラム記載番号順とする。
 - 跳躍種目のナンバーカードは、胸か背どちらか一方だけでよい。
 - 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。練習の高さは、審判員の判断で行う。

走高跳 男	(練) 1.45	1.50-55-60-65-70-75-78	以降3cmきざみ
走高跳 女	(練) 1.15	1.20-25-30-35-40-45-48	以降3cmきざみ
棒高跳	(練) 1.90	2.00-10-20-30-40-50	全て10cmきざみ
- ※ 順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cmとする。
- その他
 - スパイクのピンは、オールウェザー用のピンを使用すること。アンツーカー用（土用）のとんがりピンは禁止する。なお、長さは、走高跳・やり投が12mm以内、その他の種目が9mm以内とする。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
 - 三段跳の踏切板は男女とも9m、11mの地点に設置する。
 - 競技用具について
 - やり以外は、主催者が準備したものを使用しなければならない。
 - やりは、検査を受けて自己のやりを使用できる。
検査は、1日目 9:20から10分間。
100mゴール地点の用器具庫前にておこなう。
 - 学校対抗得点
各種目1位6点…6位1点を与える。ボーナス点として、丹有新10点、丹有タイ8点、大会新6点、大会タイ3点を加算する。
 - その他
 - 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
 - 貴重品は、各自・各チームで管理すること。万一被害にあっても主催者は責任を負わない。